

《文しょうもんだい 3》

文しょうもんだいを やって みよう。 答^{こた}えを
文しょうの 中から みつけよう。

【れいだい】

つぎの 文しょうを 読^よんで、といに 答^{こた}えよう。

ピカッ。ゴロゴロゴロ。外^{そと}を 見ると かみな
りが 光^{ひか}って います。雨も すごい
いきおいで ふって います。こうたは しんぱ
いそうに 外を 見ました。あしたは えん足で
す。こうたは ずっと えん足を 楽^{たの}しみに し
て いました。

どうか 晴^はれますようにと ねがいながら、こ
うたは てるてるぼうずを 作^{つく}りました。

(1) 文中の □に 入る ことばを アから ウ
から えらぼう。

ア ばらばら

イ ちよろちよろ

ウ ざーざー

(2) こうたは 晴^はれますようにと 何^{なに}を 作^{つく}りま
したか。

【答え】

(1) ウ

(2) てるてるぼうず

【かいせつ】

(1) 雨が すごい いきおいで ふって いる
ようすを あらわす ことばが 入ります。

(2) 文しょうの さいごに 書^かかれて います。

つぎの 文しょうを 読んで、といに 答えよう。

うなぎは へびの ように ほそ長い 体を

もつ 魚です。うなぎの 体は して

いるので、手で つかむのが とても むずかし

いです。おもに 夜に うごいて、小さな 魚や

エビ、カニ、カエル、水の中 中に すむ 虫など

を つかまえて 食べます。生まれた ばかりの

うなぎの 子どもは やなぎの はっぱのような

形を しています。半年くらい たつと、親の

うなぎと 同じような 形に なります。うなぎ

の 子どもは 海で なみに ながされながら

大きく なります。

(1) 文中の に 入る ことばを アから ウ

から えらぼう。

ア ざらざら

イ ぬるぬる

ウ きらきら

(2) 生まれた ばかりの うなぎの 子どもは

どのような 形を していますか。□に 入る

ことばを 書こう。

の

のような 形

(3) 文しょうの ないように 合っている も

のを アから エから 二つ えらぼう。

ア うなぎは おもに 朝に うごく。

イ うなぎの 子どもは 半年くらい たつ

と、親の うなぎと 同じような 形に

なる。

ウ うなぎの 子どもは 川で ながされな

がら 大きく なる。

エ うなぎは 水の中 中に すむ 虫などを

つかまえて 食べる。

つぎの 文しょうを 読んで、といに 答えよう。

日本は せかいの 中でも きのこを たくさん 食べる 国です。きのこは 切りかぶやか

れ木の 上に 生えています。きのこは

していて うすぐらい ところが 大すきです。

きのこは しょくぶつに みえますが、そうで

はありません。カビと 同じ なかまで

きんるいと よばれる 生きものです。だから、

しょくぶつの ように 太ようの 光から 自分

で えいようを 作ることが できません。

(1) 日本は せかいの 中でも どんな 国ですか。□に入る ことばを 書こう。

を

たくさん

国

(2) 文中の □に入る ことばを アから ウから えらぼう。

ア じめじめ
イ きらきら
ウ ぴかぴか

(3) きのこは 何と よばれる 生きものですか。

(4) 文しょうの ないように 合っているものを アから ウから えらぼう。

ア きのこは しょくぶつである。

イ きのこは 自分で えいようを 作ることができない。

ウ きのこは 大きな 木の 下にだけ 生えている。



つぎの 文しょうを 読んで、といに 答えよう。

うなぎは へびの ように ほそ長い 体を

もつ 魚です。うなぎの 体は して

いるので、手で つかむのが とても むずかし

いです。おもに 夜に うごいて、小さな 魚や

エビ、カニ、カエル、水の中 中に すむ 虫など

を つかまえて 食べます。生まれた ばかりの

うなぎの 子どもは やなぎの はっぱのような

形を しています。半年くらい たつと、親の

うなぎと 同じような 形に なります。うなぎ

の 子どもは 海で なみに ながされながら

大きく なります。

(1) 文中の に 入る ことばを アから ウ

から えらぼう。

ア ぬるぬる

イ きらきら

ウ ざらざら

(2) 生まれた ばかりの うなぎの 子どもは

どのような 形を していますか。□に 入る

ことばを 書こう。

の

のような 形

(3) 文しょうの ないように 合っている も

のを アから エから 二つ えらぼう。

ア うなぎは 水の中 中に すむ 虫などを

つかまえて 食べる。

イ うなぎは おもに 朝に うごく。

ウ うなぎの 子どもは 川で ながされな

がら 大きく なる。

エ うなぎの 子どもは 半年くらい たつ

と、親の うなぎと 同じような 形に

なる。



つぎの 文しょうを 読んで、といに 答えよう。

日本は せかいの 中でも きのこを たくさん 食べる 国です。きのこは 切りかぶや くれ木の 上に 生えています。きのこは していて うすぐらい ところが 大すきです。

きのこは しょくぶつに みえますが、そうでは ありません。カビと 同じ なかまできんるいと よばれる 生きものです。だから、しょくぶつのように 太ようの 光から 自分で えいようを 作ることが できません。

(1) 日本は せかいの 中でも どんな 国ですか。□に入る ことばを 書こう。

を

国

たくさん

(2) 文中の □に入る ことばを アから ウから えらぼう。

ア きらきら
イ ぴかぴか
ウ じめじめ

(3) きのこは 何と 同じ なかまですか。

(4) 文しょうの ないように 合っているものを アから ウから えらぼう。

ア きのこは 自分で えいようを 作ることが できない。

イ きのこは 大きな 木の 下にだけ 生えている。

ウ きのこは しょくぶつである。



つぎの 文しょうを 読んで、といに 答えよう。

今日、わたしは おとうさんと 花やさんへ

行きました。母の 日に おかあさんへ 花たば

を プレゼントするためです。花やさんには 色

とりどりの 花が ありました。わたしは まっ

赤な カーネーションを えらびました。おとう

さんは まっ赤な ばらを えらびました。

「花たばを とつぜん わたして おかあさんを

びっくりさせよう。」

わたしは おとうさんと そう やくそくしました。

家につき、わたしは おとうさんは

に 花たばを わたしました。おかあさんは びっ

くりしながら、うれしそうに わらいました。

(1) わたしと おとうさんは 何で 花やさんへ

行ったのですか。□に入る ことばを 書こう。

日に

へ

を

するため

(2) わたしは おとうさんと どんな やくそく

をしましたか。合っている ものを アか

ら ウから えらぼう。

ア おかあさんを 悲しませよう。

イ おかあさんに ないしよで ケーキを

食べよう。

ウ おかあさんを びっくりさせよう。

(3) □に入る ことばを 文しょうの 中から

さがして 書こう。



つぎの 文しょうを 読んで、といに 答えよう。

今日、わたしは おかあさんと デパートへ
行きました。父の 日に おとうさんへ ネク
タイを プレゼントするためです。デパートには
いろいろな 色の ネクタイが ありました。わ
たしは 青い ネクタイを えらびました。おか
あさんは みどりの ネクタイを えらびました。
「ネクタイを とつぜん わたして おとうさん
を びっくりさせよう。」

わたしは おかあさんと そう やくそくしました。
家に つき、わたしと おかあさんは
ネクタイを わたしました。おとうさんは
びっくりしながら、うれしそうに わらいました。

(1) わたしと おかあさんは 何で デパートへ
行ったのですか。□に入る ことばを 書こう。

日に

へ

を

するため

(2) わたしは おかあさんと どんな やくそく
をしましたか。合っている ものを アか
ら ウから えらぼう。

ア おとうさんを びっくりさせよう。
イ おとうさんに ないしよで ケーキを
食べよう。
ウ おとうさんを 悲しませよう。

(3) □に入る ことばを 文しょうの 中から
さがして 書こう。